

国立大学入学者選抜研究連絡 協議会第4回大会

(昭和58年6月2・3日)

国立大学における入学者選抜に関する研究の交流と協力を推進し、入学者選抜方法の改善に寄与することを目的に、昭和55年6月、各国立大学の入学者選抜方法研究委員会と大学入試センター研究部で組織された国立大学入学者選抜研究連絡協議会の第4回大会が、6月2日、3日の2日間、野口英世記念会館（東京都新宿区）で開催された。

総会には、242人が出席し、研究会には、公立大学からも19人の関係者が出席した。また、公開講演会は、「大学教育の理念と入試のあり方」と題して、名古屋大学長 飯島宗一氏の講演が行われ、大会参加者を含め、271人が聴講した（講演概要は、本誌P.2～12に掲載）。

○第4回総会

昭和57年度の会務報告、昭和58年度事業計画などが例年どおり承認されたが、特に本総会では、昭和56年6月の第2回総会で資料交流検討委員会を設置以来検討を続けていた「国立大学入学者選抜に係る資料の交流及び公開に関するガイドライン試案（案）」が提案され、全会一致で承認された。入学者

の選抜に係る資料は、その性質上、利用についていろいろな制約を伴うものであるが、この分野の研究を推進するためには、研究資料としての交流及び公開が不可欠であることから、当協議会としてはこれを積極的に検討し、ガイドラインの設定を国立大学協会に提案することとしていたもので、総会后、同協会に提案された。

○公開講演会

現行の国公立大学入試制度の発足の経緯から、現在の問題点、さらには今後の展望について、講演が行われた。

○研究会

各国立大学及び大学入試センターから、21件の研究発表が行われ、参加者との研究討議が行われた。

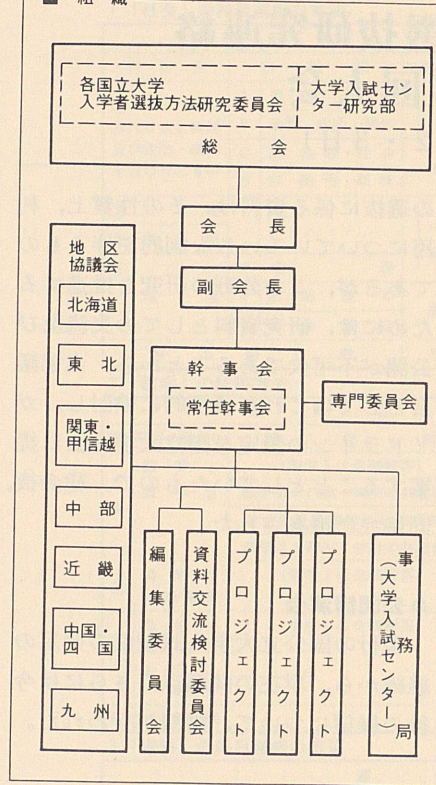
研究会 I

横田紀男（東京外国語大学）—共通1次試験の結果を基準として第2次試験及び調査書の検討

藤田 統（筑波大学）—筑波大学における共通第1次学力試験と第2次試験の分析

熊本芳朗（電気通信大学）—共通1次、

■ 組 織



2次試験成績の和による選抜方法の一考察

笠原浩三（鳥取大学）—共通第1次学力試験の科目間配点配分に関する研究

研究会II

肥田野 直（大学入試センター）—高等教育への進学動向と入学者選抜基準

山岸悦朗，中村紘司，夏井邦男（北海道教育大学）—高校調査書評定によ

る受験者層・合格者層の分析

織田守矢（名古屋大学）—留年学生の発生分布状況の考察（工学系学生の場合）

熊本芳朗（電気通信大学）—国公立大学における入試・追跡調査の電算機化の現状について—アンケート調査のまとめ—

研究会III

野村 昇，三塚正臣，山野井敦徳，森蘭英輔，杉本益規（富山大学）—職業高校生についての大学入試の位置づけに関する調査

松井栄一（京都教育大学）—ヨーロッパ各国の大学入学資格認定試験の実態と課題—インターナショナル・バカロレアの内容とそのねらい—

池田輝政（大学入試センター）—国公立大学の入試教科・科目の変化

坂元 昂（東京工業大学）—東京工大1年生における入学志望の特徴—その2—

研究会IV

松井栄一（京都教育大学）—現代学生像の把握と大学教育の課題

熊谷信順，福田 広（山口大学）—小学校教員養成課程学生等の入学プロセスと入学後の適応

高取健郎，橋本 寛（山口大学）—大学志願者層の動態と入学後の意欲—現代学生像の把握と大学教育—

竹内隆男（室蘭工業大学）—新しい入

試制度の影響

研究会V

黒田佐俊（岐阜大学）—第2次試験に新しく英語を加えた場合の受験者及び合格者の共通第1次学力試験の成績に見られる変化

若林 博（大学入試センター）—共通第1次学力試験成績からみた国公立大学の大学・学部等類型別の志願状況及び進学状況の動向

岩坪秀一（大学入試センター）—追跡調査における教養課程成績のもつ意味について

渡部 洋，池田輝政，大塚雄作，鈴木規夫，山田文康（大学入試センター）—昭和57年度共通第1次学力試験（国語・数学I・英語B）による平行尺度の作成

平野光昭，北原哲夫（山梨医科大学）—入試の成績と教養の成績

■入研協の沿革

昭和42年 4月	各国立大学における入学者選抜方法の改善に関する調査研究を推進するため、文部省は研究費を初めて予算化し、8大学に研究委員会を設置され、以降順次増加した。	学にアンケート調査を行った。
昭和46年 7月	文部省主催の第1回入学者選抜方法研究委員会設置大学連絡協議会が開催され、各大学における研究状況等について、連絡協議が行われた。	昭和55年 6月 国立大学入学者選抜研究連絡協議会の設立総会が開催され、各国立大学の入学者選抜方法研究委員会及び大学入試センター研究部を会員とする本協議会が発足した。会長に肥田野直（東京大学）が就任し、事務局は、大学入試センター内（庶務課）に置かれた。
昭和52年 5月	共通第1次学力試験の実施に関する業務を行うとともに入学者選抜方法の改善に関する調査研究を行う機関として、大学入試センターが設置された。	昭和55年 8月 入研協ニュース版1を発行した。
昭和54年 11月	文部省主催の国立大学入学者選抜方法研究委員会連絡協議会が開催され、大学側が主体的に運営する連絡協議会の設立について提案があり、設立準備委員会が設置された。	昭和55年 9月 近畿地区協議会が発足した。
昭和54年 12月	国立大学協会第2常置委員会において、国立大学入学者選抜研究連絡協議会（仮称）の設立が了承された。	昭和55年 11月 第1回研究発表会（公開パネル、研究分科会）を開催した。
昭和55年 2月	設立準備委員会は、国立大学入学者選抜研究連絡協議会（仮称）の設立に関し、各大	昭和56年 3月 国立大学入学者選抜研究連絡協議会研究報告書第1号を発行した。
		昭和56年 6月 第2回総会及び研究発表会を開催した。
		資料の交流及び公開を促進するため、資料交流検討委員会を設置した。
		昭和56年 9月 関東甲信越地区協議会が発足した。
		昭和57年 5月 中部地区協議会が発足した。
		昭和57年 6月 第3回総会及び研究発表会を開催した。
		昭和57年 7月 九州地区協議会が発足した。